

令和2年度 「まちづくり懇談会」における参加者発言要旨【会場順】

テーマ 若者に「選ばれるまち」の実現に向けて

種類

- 1 若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策
- 2 公共交通
- 3 地域、地区、区・自治会
- 4 防災、消防団
- 5 福祉
- 6 観光、移住、経済、雇用、農業、空き家
- 7 基盤整備、交通安全
- 8 子育て、教育
- 9 その他

No.	地区	種類	発言要旨
1	ちの	その他（合併）	<p>【市民】 事業を進める中で財政が重要。ワーケーションの中で、茅野、富士見、原村の八ヶ岳西麓で3市町村合併の話が出てくるのか。合併することで、人件費等抑えることができるか、シミュレーションしているのか。</p> <p>【市長】 3市町村合併は、現状では厳しい状況と認識している。しかし、できることから一緒にやりたい。ゴミ処理は3市町村で行っている。一緒にできることからやっていくことが、最終的に合併につながるのではないかと思う。</p>
2	ちの	子育て、教育	<p>【市民】 小中高校生が大人になったとき、地域のコミュニティに参加していかなければならない。昨年質問した際に、今年度から「自分たちの人生、生きるまち、そして未来を担う」等の教育を進めると聞いたが、子どもたちはどんな感想を持っているか聞きたい。</p> <p>【市長】 アンケート調査はしていないので、出せるデータはないが、昔は、学校の行き帰りに友だちの家へ寄るなど遊んだ思い出がある。しかし、今の子どもたちは、駅まで送り迎えをしてもらい友だちと遊ぶ機会が少なくなっているのではないかと思う。だから、新しい公共交通システムを利用して、友だちと遊ぶ機会を気軽にできればいいと思う。小中高校生が思い出を作れる環境を作っていかなければと思う。</p>
3	ちの	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】 駅西口開発があるが、少し離れると耕作放棄地や空き家が増え、活気があるまちだと思えるか。観光地だけではなく市街地も見たい。</p> <p>【市長】 駅西口は、専門家の皆さんが考えた案をたたき台にして、多くの方と議論する機会を作る予定。永明小中学校の建て替えに伴って、新しい道路も検討する。もう一つは、駅周辺に人が散策できる環境をどのように作るかが大事だと思う。ビジネス、観光で来てもらう人を作る、そこに地元の人がきてくれる環境を作る。これは、公共交通を高校生に使ってもらい、駅周辺を散策してもらう。そうすれば東口ロータリーの渋滞は解消につながると思う。色々なことを併せて考え、ある程度人の行き交う状況を作りたいと思う。地域の人、地元の人が本気になって、まちをにぎやかにするには、どうすればいいか考えてもらうことが重要だと思う。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
4	ちの	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】 移住を前提とした方に、庭付の古民家等の空き家に1週間程度住んでもらい、野菜収穫ができる時期は収穫体験をすることで住みたいと思うのではないかな。</p> <p>【市長】 1～2か月茅野市の暮らしを体験していただくことは大変良いと思う。市営住宅では、お試しの移住は実施している。</p>
5	ちの	福祉	<p>【市民】 医療費をある程度市が負担することや生産年齢世帯への医療保障の補てんをしてもらえば、移住者が増えると思う。</p> <p>【市長】 医療費の補助はやりたい事業のひとつ。子育て環境を良くしているが、一気にできない状況。できるだけ充実させていきたい。</p>
6	ちの	その他（まちづくり懇談会）	<p>【市民】 今回のまちづくり懇談会は、コロナ禍で人数を絞っての開催は承知しているが、その中でも上原区は、区を良くしようと思ひ多く参加している。他地区の懇談会の状況を教えてほしい。</p> <p>【企画部長】 コロナ禍のため、各地区30名～50名程度の参加者でお願いした。地区ごとにどのような方に声かけするかは決めてもらったが、区長や消防団等参加している。地区によって集まる方は多少は違うが、たくさん来てもらうことは、ありがたい。意見も聞けるのでこの機会を大事にしたい。</p>
7	ちの	その他（産学公連携）	<p>【市民】 理科大も公立になった。上原区では交流もないが、活気も感じられない。産学公の連携はどのように進んでいるのか聞きたい。</p> <p>【市長】 コロナ禍で、理科大は遠隔授業をしていた。学校へ行っている学生もわずかで学校への出入りも厳しい状況。また、学生が街に出かけない、これは足がないため、課題となっている。出歩きやすい、出たくなる環境を作らないといけないと思う。公立化になって3年目、説明したLPWAの研究をしてもらい、地元企業との連携も出てきた。今大学は、新しい研究棟を建設している。産学連携の拠点になっていく予定。新しい形の地域との連携を打ち出せるのではないかと期待している。</p>
8	ちの	子育て、教育	<p>【市民】 永明小中学校建替えになるが、永明小から永明中に全員が行き、小中一貫校の問題は感じないが、他の地区はどうか聞きたい。</p> <p>【教育長】 他の学校では、2～3校に分かれる学校がある。その中で市の考え方は、小学校と中学校で学びの形式を統一していく。もう一つは、生徒指導面で、小中で一貫した生徒指導をしていく。そのような内容面での小中一貫の考え方をしている。時間をかけて進めていく。</p>
9	ちの	子育て、教育	<p>【市民】 コロナ禍で、子どもは見ることができるが、現場の先生たちはの思いや悩みを聞けない。現場からの声や要望があれば聞きたい。</p> <p>【教育長】 3月は、3日に一度の家庭訪問を行ったが大変だという先生もいた。4月中が一番大変だった。新しく採用になった先生と県外から採用になった先生は、2週間出勤ができなく、その後の家庭訪問もままならない状況だった。その中で、先生方の声は、「4月から勉強が進められないので、3月に間に合うのかが不安」「直接子どもの顔を見ることができない。一緒に遊べない。新しく担任になったが、1年のスタートができるか不安」などがあつた。今後休校になった場合を見据えて、様々な準備を進めている。</p>
10	ちの	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】 若い世代など近い世代を集めて意見交換した方が色々な意見が集まると思う。</p> <p>【市長】 世代によって、ものの捉え方も違うと思うので、まちづくり懇談会に加えて、別の機会を考えたいと思う。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
11	宮川	防災、消防団	<p>【市民】集落懇談会の中で、向ヶ丘区は高台にあるため、地震で道が寸断され孤立してしまうのではないかと心配している。その時の脱出路の確保は検討を進めているか聞きたい。</p> <p>【副市長】市で防災ガイドブックを配布しているので、住んでいる方々が、普段からどのような災害の可能性があるか確認して、ここが崩れた時は、どこへ逃げるか等の想定を住んでいる方で共有することが大事だと思う。向ヶ丘区は、何カ所か避難路があるので、区長さん方が情報把握をしながら、避難誘導していただくことが大事だと思う。災害の想定をして訓練をお願いしたい。</p> <p>【市長】自主防災組織で検討をさせていただいていると思うので、課題などありましたら、相談して欲しい。</p>
12	宮川	防災、消防団	<p>【市民】消防団では、人員削減等の検討をしているが、少ない人数では、できることも限られる。団員の人数削減はしないで、負担軽減や区との連携等を詰めていけば、地域の皆さんと協力して防災活動ができると思う。</p> <p>【市長】分団により消防のあり方について、考え方が違っている。分団に合っているやり方に持っていくことがよいのではないかなと思う。今年度中に一定の結論を出していただく予定。現役の皆さんの意見を尊重した形で考えていければと思う。</p>
13	宮川	地域、地区、区・自治会	<p>【市民】災害時区の公民館は、補完避難所になる。また、新型コロナウイルスで小中学校が休校になった場合は、オンライン授業になると区の公民館を利用する場合も想定できるので、各区公民館にWi-Fiを入れることを今後進めていくか聞きたい。</p> <p>【市長】全体としての考え方は、多くの人を呼び込むために、リゾートテレワークを推進していくと考えているので、ネット環境をしっかりとしていくことが前提になる。ワークラボ八ヶ岳や諏訪東京理科大学には、5Gを導入できればと考えている。ネット環境の重要性は認識しているので、充実していくよう考えたいと思う。</p> <p>【副市長】区の公民館のネット環境は、コロナが流行してきたときに補助金をだして、Wi-Fi設置について検討した。まだ補助事業として構築になっていないが、提案を踏まえてどのような支援ができるか検討していきたい。</p> <p>【教育長】ネット環境がない家庭が、7割5分くらいある。休校が長引いた場合は、なんとかしないといけない。休校の想定は、全ての学校が一斉休校になるよりも、コロナが出た学校または、学年だけ休校で、Wi-Fi環境のない家庭には、ルーターの準備を進めている。各地区でWi-Fi環境があれば、そこで人と人との関わりができるので、その点も考えたい。</p>
14	宮川	その他（環境）	<p>【市民】政府で、2050年までに脱炭酸ガス0ということで方針が出ている。今後の市の方針を聞きたい。茅野市は水量豊富な堰などや地熱に使える温泉地もある。また、太陽光発電の蓄電池に対する補助制度を考えているか聞きたい。</p> <p>【市長】太陽光発電の蓄電池の補助制度は現状では考えていない。小水力発電は、民間の方が笹原で始めている。推進いただく形で補助金や申請の手伝いをしている。茅野市は小水力が有効だと思う。やれる形で応援したい。</p>
15	宮川	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】公立諏訪東京理科大学の学生の地元企業への就職率が低い。長野県枠があるようだが、その中で地元枠を広げることができるのか。</p> <p>【市長】大学側がどう判断するかの問題になるが、枠の人数すべてを取っていない状況。他の受験生との得点の差が大きすぎると、文科省から指導が入るとのこと。市でも大学をお願いしているが、あまり無理も言えない状況。地元への就職率が低いことについて、その前にこの地域をもっと知ってもらうことが大事だと思う。会社訪問も大事だが、4年間の中で、蓼科や白樺湖へ行ったことのない学生がたくさんいる。公共交通の関係で、気軽に行くことができないという。気軽に移動できる状況を作り、まちの魅力を感じてもらい地元への就職につなげていきたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
16	宮川	地域、地区、区・自治会	<p>【市民】「鎌倉街道」をテーマにした遊歩道を作ったが、この道筋に2か所偽りがあり、世間に偽りを広めている。古道の読み方ではなく、遊歩道の道筋の中に2か所道筋と違うところ含まれているので、道筋の修正をお願いしたい。</p> <p>【市長】現在の遊歩道の部分に旧道と関係ないところが含まれていることがいけないということによるしいか。</p> <p>【市民】そのとおり。本来の道筋に沿って修正して欲しい。</p> <p>【市長】現地をくまなく見ていないので、過去の経緯も検証し地元の皆さんと意見交換しながら考えていければと思う。</p>
17	米沢	基盤整備、交通安全	<p>【市民】先日県に要望に行った横川橋の件はどうなったか。</p> <p>【市長】県も設計する予算を付けてくれて、動きつつあるが、かなり難易度が高いことがあって、これから詳細を詰めていかななくてはならない。少し前に進んだ状況。</p>
18	米沢	基盤整備、空き家、交通安全	<p>【市民】リサイクルセンターが来年10月に完成するが、完成後搬入の車が増えると思う。現在も清掃センターや永明寺山公園に行く車が多いので、一層の混雑が予想される。市道と県道をまたいで横川橋があるが危険。車がスムーズに通行できるようにしてほしい。併せて、信号機の設置をしてほしい。</p> <p>【市長】この案件は、ビーナスラインの橋の長寿命化が不可能で架け替えしないとイケないことと、リサイクルセンター建設と重なって様々な問題があり、架け替えるならばそのようなことも考慮してできないかと県に要請し、もう一度設計するという段階になった。なるべく地域の意向をくみ取っていきたいが、思いどおりに行くかはわからない。信号機は、中大塩の信号との距離が近いので、厳しいとは思いますが要望する。簡単ではないことはご理解をお願いしたい。</p>
19	米沢	基盤整備、交通安全	<p>【市民】繰り返したが、信号機の設置について、中大塩の信号機との距離は近いが、そこを何とかしてほしい。10年くらいの間には、信号機の設置をしていただき、スムーズに通行できるように要望する。</p> <p>【市長】要望していく。</p>
20	米沢	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれるまちですから、16歳～22歳の茅野市以外から通学している方に対して、茅野市をどう思うか問いかければよいと思う。</p> <p>【市長】第2次地域創生総合戦略を策定する際に、高校生の皆さんとミーティングした。その時の意見は、バスを使いたくても電車と時間があわないと意見が出た。このことを反映して、今度の公共交通の実証運行では、電車の時間と合わせた。高校生は、スタバや本屋がほしいと分かりやすい意見が出る。理科大生は、蓼科や白樺に行ったことが無い話を聞く。タクシーで行こうとすると料金が高い。気軽に行くことができればいいが。自転車で行くと道が悪いと言われる。若い人の意見は大事にしていきたい。</p>
21	米沢	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に魅力ある面から言うと、千葉大学の「あかしよういち先生」の話では、千葉大の学生が地元に戻りたいという学生は、地元の伝統行事、地域の行事をしっかりとやった学生と言われていた。諏訪東京理科大学の学生が地域との交流等を行えば、理科大の学生も茅野へ残ることも出てくるのではないかと。</p> <p>【市長】ワークラボ八ヶ岳で開催したまちづくり懇談会に、理科大生に多く来てもらった。理科大生も色々な思いをこの地域に持っている。できるだけ機会を増やしていきたい。</p> <p>【教育長】多留姫文学自然の森では、田植え、稲刈り、餅つきを行っている。米沢では、ラジオ体操をやってもらった。それぞれの地区で地道な活動をやってもらっている。学校教育の中では、縄文について学び、まちづくりや産業にどのように活かしていくかを学んでいる。この結果が出るのは先になるが、茅野市を好きな子どもが増えてくれることを期待している。全国学力テストの中で、生活実態調査がある。その中に「地域の伝統行事へ参加するか」のアンケートで、地域の皆さんに様々な行事をやってもらっているのだから、非常に参加率が高い。また、小泉山の元旦登山も子どもたちがたくさん参加してもらい感激している。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
22	豊平	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれるまちの実現のために、6つの事業を実現するための手段として、国のスーパーシティ構想に手あげするとあったが、採択されなければ6つの事業は実現できないのか聞きたい。</p> <p>【市長】簡単に言うと、スーパーシティに選ばれれば、高速道路で目的地に行くイメージで、選ばれなくても、一般道路で目的地に向かうというイメージ。時間はが掛かると思うが、6つの事業を形にしていくことは変わらない。</p>
23	豊平	公共交通	<p>【市民】12月から実証運行が始まる。豊平もエリアに入っているが、計画を聞きたい。</p> <p>【市長】いきなり全市で展開はできないので、実証運行は、ピアみどりをハブにして、その周辺をエリアに決めている。</p> <p>【地域戦略課長】実証運行エリアの方々に、地域の中で希望があれば説明に行くので申し出てほしい。どんな方法で広報するか検討している。アプリのダウンロードができるようになったら、広報メディア、LINE等で一斉にご案内する。</p> <p>【市民】豊平地区では、足の確保について検討している。その辺も組み合わせできればやりやすいのではないか。</p> <p>【市長】そのつもりでいる。そうしたより良い形になるようお願いしたい。</p>
24	豊平	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】農業は後継者がいない。農地に太陽光発電パネルを置くことに関して、どのように考えているか。</p> <p>【市長】農地に太陽光発電の件について、基本的にはケースバイケースで、市として話をしている。周辺の方と話ができればいいが、そこが問題になる場合があるので慎重にやっている。</p>
25	豊平	その他（太陽光発電）	<p>【市民】霧ヶ峰の太陽光発電事業が流れたが、どのような経過で流れたか聞きたい。</p> <p>【市長】太陽光発電の設置許可を受けてから、10年以内に事業を始めないと契約当時の売電金額が維持できなくなる。霧ヶ峰の太陽光発電計画は、金額が下がる手前まで時間がかかってしまったので、業者は撤退するという方向で決断したのではないかと聞いている。</p>
26	豊平	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】話の中に農業のことが出てこないが、どう考えているか。</p> <p>【市長】上位計画の茅野市総合計画があり、農業、工業、商業等別の計画がある。今回の話は、若い人が出ていかにないように、若い人が帰ってくるように、若い人に来てもらうことに特化した計画が新しくできたので、その計画について説明をした。農業をおろそかにするわけではなくやっていく。</p>
27	豊平	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者向けに行っているワークショップや意見交換があると思うが、若者から見た茅野市、こんなこと考えている等を教えてもらえば、取り組みができることや協力できることを一緒に考えられると思う。</p> <p>【市長】公共交通やポイント等について、たくさんの方と話す場を作って腰を据えて事業に取り組みたいと思う。積極的に若い人たちの意見を聞く機会を設けて、みんなで考えていけるような体制づくりをやっていききたいと思う。</p>
28	玉川	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれるまちを目指すがあるが、若者の意見を取り入れることが重要だと思うが、どのように反映されているのか聞きたい。</p> <p>【市長】第2次地域創生総合戦略を策定するにあたって、大学生や若い人に集まっただき、率直な意見を議論してもらった。今回の話の中では、公共交通の部分で、高校生との懇談を行った。</p> <p>【地域戦略課長】公共交通については、お年寄りだけの足ではなく、高校生の通学の足の確保をしていきたいという中で、高校生や父兄の方に集まっただき意見を聞いた。意見を聞くだけではなく、これからの実証運行の中で、PDCAを回していく部分にも、そのような方々にも参加してもらおう方向で進めている。</p> <p>【市長】これからも、積極的に若い人たちの意見を聞いていきたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
29	玉川	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】 去年のまちづくり懇談会の話は、都会へ行ってふるさと納税を納めてもらいたいと話していたが、今回の若者に選ばれるまちの話とギャップを感じた。</p> <p>【市長】 説明が悪かったと思うが、都会の人を呼ぶだけのことを考えているのではなく、まず都会の企業が茅野市にサテライトオフィスなど事務所を構えていただくことから始めたいということです。企業に来てもらわないと、地元の子は東京に行ってしまう。地元の仕事があればいいというよりは、自分のやりたい仕事があることが大事になってくる。できるだけ多くの職種をそろえたい。今誘致しやすい職種はIT企業で、今後製造業もAIやIoTを導入しなければいけない時、きちんとサポートできる人材も必要になってくる。まず、そうした企業に茅野市来てもらう取っ掛けを作りたと思う。そこに地元の子に働いてもらえればいいと思う。</p>
30	玉川	福祉	<p>【市民】 18歳まで医療費が免除になるのは、富士見町、原村。子育て世代に茅野市は選ばれるのか。福祉面について聞きたい。</p> <p>【市長】 18歳まで医療費免除は、できることならやりたいと思うが、茅野市は、企業誘致で働く場所の確保などをやらなければいけない。ある程度コストをかけなければいけないということになる。割と小回りが利く自治体と同じようなことができない部分が出てきてしまう。財政状況も決して豊かではないので、何かを我慢する選択をしなければならない時期にきている。今回の話も、10年後の未来に備えて少しずつやっていくという話で、最終的に選んでもらうには、福祉、環境、教育が重要だと思ふ。その部分はできるだけ手厚くしていきたいと思っている。</p>
31	玉川	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】 運営協議会子育て部会が中心になりケヤキウィークを行った。子どもたちや父兄の皆さんに好評をいただいた。今日の話題になっている「若者に選ばれるまち」について、子育て部会では、ここで育った子どもがどうやったら帰ってきてもらえるか、玉川に愛着のある教育をしたいと前から考えて活動している。</p> <p>【子育て副部会長】 子育て部会の目標の一つとして、子どもたちが将来住み続けたくなる、帰って来たくなるまちづくりに向けて活動している。ケヤキウィークでは、知らないところを知ってもらい、知っているところを見直してもらうため小泉山も登った。子どもたちからは、保育園の頃から登っているが、お父さんやお母さんと一緒に登って楽しかったと話を聞いた。今後も、玉川の魅力、茅野市の魅力を子どもたちに知ってもらい、茅野市に住み続けたくなることを考えていきたい。</p> <p>【子育て副部会長】 説明があった事業ですが、実現させるときに若い人から年配者までが関わることが大切だと思う。帰って来たくするためには、自分自身がまちづくりに関わらないと帰ってこないのではないかと思ひ、子育て部会で活動している。市や地域の皆さんにも知っていただき一緒に進めたいと思う。</p> <p>【市長】 この地域の魅力を感じることは大事だと思う。公共交通の会議で昔は、バスや電車に乗って高校に通っていたが、今は送り迎えがほとんどで、電車から降りてすぐ家に帰る。昔は、バスを待つ間みんなで食べたりおしゃべりした思い出があるが今はないと話が出た。やはり友達との思いでは大事なことだと思う。地域の活動はできる限り応援していきたい。また、皆さんから参加してもらいみんなで作り上げていきたいと思う。</p>
32	玉川	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】 玉川は今回のテーマに沿って活動をしている。今公共交通の会議に参加しているが、若者に選ばれるまちづくりを皆さんでやっていきましょう。</p> <p>【市長】 ありがとうございます。よろしくお願いします。</p>
33	泉野	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】 空き家になっている家があるが、壊すにもお金がかかるので、逆にお金を払ってもいいので住んでもらいたい。そうゆうものを活用して、ワーケーションやテレワークに使ってもらいたい。</p> <p>【市長】 そのような空き家はたくさんあると思う。まだ住めるうちに誰かに住んでもらうことが大事だと思う。来年度から、移住交流事業を今まで以上に力を入れたる体制にしたいと思っているので、協議をしていきたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
34	泉野	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれる点で、若者に対してどのような魅力を発信していくのか。また、子どものために住み続けたいという場合、教育支援も重要だと思う。</p> <p>【市長】若い人へのアピールは、自然があることは強みだが、それだけでは難しいと思う。最近テレワークが進んできたので、まずそれが不自由なく使える環境を充実していく必要があると思う。できれば、5Gを使える場を整備していかななくてはいけないと思う。遠隔診療には5Gは欠かせない。国の補助金等を活用しながら、準備ができればと思っている。教育も重要になってくると思う。茅野市は、他市に比べて充実した部分がある。例えば、0123広場や学童クラブとは別に各地区こども館がある。また、「育ちあいちの」これも子どもたちをみんなで見守る体制で好評をいただいている。ただ、これで満足できるとは思っていない。教育支援は選ばれるポイントなのでしっかりやっていかなくてはならないと思う。また、福祉、環境、教育が最後に選んでもらえる決め手になると思うので、しっかりやっていきたい。</p>
35	泉野	公共交通	<p>【市民】若者に選ばれるまちをテーマにしているが、高校生は、交通の便が厳しい、気軽に遊びに行ける環境がないという。今回の実証運行も泉野の学生には関係がない。中高生を対象にしたアンケートを取れば今後役立つと思う。</p> <p>【市長】意見いただいたことを何とかしたいということで、12月から行うものは実証運行になる。とりあえずピアみどりから駅までバス運行をして、横展開ではピアという新しい交通システムを使って、皆さんに受け入れてもらえるか見たいということで行っている。その次の展開として、全市的にやっていきたい。</p> <p>【地域戦略課長】公共交通の実証運行は、これで終わりではなく、このシステムがよければ全市的な展開から諏訪中の展開へ考えていきたいと思う。若い人や高校生の意見を聞く機会を持っている。今回の実証運行がピアみどりと駅のため、その周辺の生徒さんや保護者の方に意見をいただき計画を作った。この実証運行でバスが必要となれば、全市での展開ができると思う。バス以外の「のらざあ」という乗合のオンデマンド交通を併せて行っている。これは泉野もエリアになっているので、活用して欲しい。こちらも部分的な実証運行で、評判がよければ全市的、また、6市町村への展開をしていければと思う。</p>
36	泉野	公共交通	<p>【市民】乗合オンデマンドの「のらざあ」について、お年寄りには難しい。説明会の機会を作ってほしい。</p> <p>【地域戦略課長】スマートフォンの説明会については、地区の中で要望があれば説明に行く。また、諏訪中央病院の玄関にサポートデスクを設けて、病院の待ち時間等にアプリのインストール等お手伝いする窓口を予定している。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
37	泉野	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれるまちづくりについて、帰ってこない理由を聞くと、現在のような給料をもらえる勤め先があるかと言われる。どこに魅力があるのかといわれる。魅力や働く場所等を発信する場所を作ってもらわないと戻ってくることは難しいと思う。農地はあるが、農業をできなくなっている方も多くいる。農業だけでは生きていけない。今後の問題で、若者をどのようにして来てもらえるかを考えてほしい。</p> <p>【市長】魅力の発信について、仕事をする場所があるということが大前提で、できれば働く場所も選択肢があれば良いと思う。この地域は、製造業は多くあるが、それだけでは若い人は残ってもらえないと思うので、IT系企業を増やしていければと思います。立川の企業との交流を始めようと思っている。交流する中で、サテライトオフィス等を茅野に持ってもらう茅野に住んでいながら、テレワークで仕事をし、月に数回東京に行く働き方もできると思う。あえて茅野に住む理由や魅力は、ライフスタイルそのものを発信していくことだと思う。例えば、山が好きな人は、すぐに八ヶ岳に登れることは魅力の一つ。若手の農業経営者の皆さんと懇談をしたが、その方は名古屋から移住してきた。山が好きですぐに登れることは魅力と言っていた。前はIT系の企業にいたが、ITのものの考え方と農業の考え方は共通しているところがあり、これならできると思ったとのこと。また、東京や名古屋で移住セミナーをやっているが、そこで自分の暮らしの体験談を話したいと言ってもらった。そのような暮らし方や体験談をできるだけ多くの場所で発信していきたいと思う。</p>
38	泉野	その他（八ヶ岳実践大学校）	<p>【市民】八ヶ岳農業実践大学校に、大型の酪農牧場を誘致すると報道されていた。牛乳を生産すると洗浄しないとイケないため、4分の1を地下浸透させると記事にあった。水利権に絡んで問題があるのではと思う。過去に他県で口蹄疫という牛の病気が発生したが、緊急時に、と殺埋葬になるが、そのような説明は市にあったのか聞きたい。</p> <p>【市長】このような計画があるので、よろしくお願ひしたい。程度の説明しかまだ来ていないので、詳細まではわからない状況。</p>
39	泉野	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】ビーナスライン蓼科道の駅ができたが、販売と飲食部分が貧弱だと思う。市でもサポートをしてもう少し賑わえばいいと思う。若い市職員でチームを作りアイデアを出して活用したらいいと思う。</p> <p>【市長】財政的にも投入して、今の状態にした。色々な声はあるが、地元の観光協会とも協議をしているところ。</p>
40	泉野	その他（公園）	<p>【市民】花蒔公園、弓振公園の広場にあるベンチに荷物を置いたら座れないので、ベンチの屋根の所に棚を作って、その下にフックを付けてもらいたい。</p> <p>【市長】現地を確認したいと思う。</p>
41	泉野	観光、移住、経済、雇用、農業、空き家	<p>【市民】蓼科高原の別荘地の景観改善について、昭和の時代に建てられた別荘で利用されていない別荘が多くイメージが悪い。イメージを守っていくためには、条例を作って、危ないから壊す、草刈り等の管理をするなどイメージアップを図っていくといいと思う。</p> <p>【市長】デベロッパーとも協議をしているところ。</p>
42	泉野	その他（キャッシュレス）	<p>【市民】前回のまちづくり懇談会で、キャッシュレスの話のなかで、住民票をクレジットカードで取れるかと質問しできなかつたが、その後どうなったか。</p> <p>【市長】コンビニ決済では、水道料や税についてペイペイ等使えるようになった。全部ではないが、少しずつ体制を作っていく。</p>
43	泉野	その他（テレワーク）	<p>【市民】テレワークを推進していくと話があつたが、市役所職員はテレワークをやっているか聞きたい。</p> <p>【市長】テレワークはやっている。例えば、国や県とのやり取りについてテレワークでやっているが、環境はもう少し整えていかないといいと思う。来年度に向けて、準備を始めたところ。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
44	泉野	その他（ソーラー外灯）	<p>【市民】平成30年度のまちづくり懇談会で質問したが、茅野市に100台のソーラー外灯が寄付されて、各コミュニティセンター経由で希望を取り配分した。当初泉野には、7台が配分されたが、途中で0台になった。それを埋め合わせる形で、何らかの形で配分していただきたい。</p> <p>【市長】報告を受けた状況になるが、当時の経緯について前任の副市長さんからこのような形で一応了解いただいたと報告をいただいたので、何らかの埋め合わせについては、しっかり検証しないと何とも言えない。埋め合わせをすることはできないということです。</p>
45	泉野	その他（ソーラー外灯）	<p>【市民】平成30年10月のまちづくり懇談会の時の回答をどの様にしたか記録はありますか。経緯はわからないが担当課に返事をさせますみたいな話だった。ところが、変更したのは30年の7月。すでに変更して決裁を通した後で、まち懇で質問してもその程度の回答しかなかった。茅野市に対して、疑問を持っている。埋め合わせをすると約束しなくて結構ですが、市長さんと経緯も含めて改めて話をする機会を持ってもらえるか。</p> <p>【市長】それは構いませんが、今ここで改めて経緯を話します。まず、寄付をしたいと申し出があった。それが、全市に100台だったので、当初市でも各地区にやろうと考えていたが、寄付をされる方が、泉野地区には遠慮いただきたいという話があった。そのことが寄付される方の意向ということになったので、泉野には寄付ができなくなってしまった。結局、寄付ということになるので、寄付者の意向を尊重せざるを得ないということになる。例えば、教育関係に100万円寄付するので、教育に使ってくださいと言われれば、教育に使わなくてはいけないと同じような形になる。泉野の皆様には申し訳ないが、寄付された方の意向を尊重せざるを得なかったというふうに理解している。</p>
46	泉野	その他（ソーラー外灯）	<p>【市民】経緯は知っているが、腹を立てているのは、0台になったことを市役所の担当者とコミュニティセンターの当時の所長と話をして、区長会には黙っていようと話をした。その話を聞いて、担当課長呼んで話を聞いたら、すみませんといい、埋め合わせの検討をしようと言った。その後、役所へ行きどうなったか聞くと、そのことは言った言わないの話だと言われた。その後、資料請求をしたら、泉野は0台になりましたではなく、配分の方法を変えましたと決裁を取ってあった。理由は何も書いていなかった。おかしくないですか。もう一つは、当時の副市長さんになんとかしてほしいと話したら、検討しますといった。そのことも全く納得していない。市の対応が納得いかない。きちんと対応してほしい。</p> <p>【市長】職員の対応については、大変申し訳なかった。</p> <p>【副市長】報告を受けていることと、ここでお話をお聞きしたので改めて持ち帰って庁内でも確認させていただく。泉野地区の皆さんは、いつの間にか配分が無くされたことに対して、怒りをお持ちになっていることは十分わかったので、当時の担当も含めて意見聴取したうえで対応させていただきたいと思う。</p>
47	泉野	その他（八ヶ岳実践大学校）	<p>【市民】八ヶ岳実践大学校の酪農施設について、農業用水に取水しているなばたけ堰があるが、上の方で大量の水を取水して、排水するか再利用するかで、小屋場区にも関係が出てくる可能性が高いと思う。匂い等もあると思うが、今後において、置いてかれて後で何か問題があったらと不安を感じる。今後市はどのような対応をしていくのか聞きたい。</p> <p>【市長】原村、茅野市両方で説明会を開いてほしいとお願いしている。泉野で説明会が必要であれば、企業側に要請したいと思うので、連絡いただければと思う。</p> <p>【市民】必要があればという判断は、市がするのか。</p> <p>【市長】茅野市側で説明してほしい旨は、既にお願しているもので、泉野地区で説明会をしてほしいと要望があれば、希望に沿う形でやっていきたいと思う。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
48	金沢	基盤整備、空き家、交通安全	<p>【市民】河川の草刈等について、市から多少の支援をいただいているが、市道の法面の草刈りや河川のヨシ大雨の際の倒木で土砂等が堆積する。台風シーズンの前には、草刈もしている。地域は自分たちで守ることは当たり前だが、援助を多少でももらえないか。</p> <p>【市長】河川の堆積土について、1級河川の管轄は県になる。県も限られた予算の中で、できるだけ多くの箇所をやってもらっているが、追いつかない現状だと認識している。河川の土砂を処理する時は土を捨てるのが一番お金がかかる。近くに土砂捨て場があれば運搬距離が近くなり安くなるので、お知らせいただければ県に伝えていく。市道の法面の草刈の援助は、茅野市中の課題の一つになっている。</p> <p>【副市長】幹線道路は、市でも管理している道路もあるが、村中の道路管理は、区・自治会で管理してもらっている道路がある。意見いただいたことは、区・自治会で管理している道路の事だと思うが、お茶代程度でも出るとありがたいということだと思うので、持ち帰って建設部と協議していきたいと思う。</p> <p>【市長】先ほど財政の話もしたが、そこにお金をかけようとするれば、一方で我慢することも当然しなければいけない。バランスをどうとっていくかになる。庁内で議論をし、できるだけ期待に答えられるようにしたいと思う。</p>
49	金沢	基盤整備、交通安全	<p>【市民】普通河川等は市の管理だと思うが、草刈等の検討をしてほしい。</p> <p>【副市長】市の管理する普通河川や重要河川は、出払いの際に地域の皆さんに管理してもらっているが、例えば、過度に堆積したものは、要望をもらう中で状況を確認して、災害が起きそうな場所等は、区の負担にならないよう重機借上料を出している。区・自治会から要望をしていただき内容を見ながら対応していきたいと思う。</p>
50	金沢	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】金沢地区の未来を考える会で、地元の良さを地元の人が認識していないので、まず現状把握をして親世代にも知ってほしいとの思いで、5年前にマップを作った。併せて、立て看板を作り金沢をPRしている。子どもたちもいいところ探しをして、文化祭等で発表している。子どもたちが将来外に出ても、金沢にはいいところがあると話ができるようになってほしいと願い継続して行っている。一つ困ったことがあるが、茅野駅からすずらの里駅までの間に、食事やトイレの場所は、宮川のセブンイレブンより先にはない。せっかく来てくれる人に紹介ができないことは悩み。人口を増やすと説明があったが、地域にはこのような課題もあるので、考えてほしい。</p> <p>【市長】正確な答えができれば苦労しないのですが、人が減るということは、店も減ることに繋がるのが現実だと思う。もう一つは、インターネット環境が急速に発展したので、色々なものがネット購入できる時代になってしまったこともあると思う。我々がやろうとしていることは、地道で手間のかかることですが、それをやらずに何とかしようとしても、人の流れを作ることは難しいと思う。金沢の皆さんは、地域をよくしようと活動してもらっているので、こんなことはどうかと相談してもらい、市でもサポートして行きたいと思う。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
51	金沢	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】茅野市地域創生総合戦略について半年が過ぎた。色々な見直しが必要になることも出てくると思うが、どのように考えているか。未来都市などビジョンが出ていたが、どこでもやっていること。敵を知ること、他のまちを見ることも大切。茅野市は何で他の自治体に勝つのか。茅野市が選ばれるまちになっていくことが必要。</p> <p>【市長】公共施設の見直しはもう少しでまとまる。基本的な考えは、各地区の小学校は守ることが大前提になる。その上で、どの施設を一緒にできるか、無くしても大丈夫か等のベースを作り見直しを進めている。もう一つイベント系の補助金につて、縮小の見直しを進めている。福祉、教育、環境分野には手を付けない形でやっていきたいと思う。茅野市の強みは、何を売りにしていくかは、日本中見ても、夏の涼しさだと思っている。また、アフターコロナで、これから一極集中から地方分散社会に行くだろうと言われていて、車でも電車でも、首都圏と中京圏から2時間で来ることができることが強みと思う。この二つが強みと思っている。コロナ禍前は、夏の2か月だけでも貸事務所で首都圏の企業にテレワークをしてもらおうと考えていたが、今は年間通して十分にテレワークをやってもらえるのではと考えている。ここに住んでもらう決め手は、ここで働く場所がある、安心安全で暮らせる、「福祉」「環境」「教育」がある上で、ネット環境、情報通信の環境がしっかりとあること。また、都会の方は、自動車を持たない方も増えているので、公共交通も重要と考えている。その準備を今からしていきたいと思う。</p>
52	湖東	基盤整備、交通安全	<p>【市民】笹原区内の通学路について、前の農業笹原店道向の県道部分に何年も前から歩道を要望しているが、手が付かない状況。市からも要望を進めてほしい。</p> <p>【市長】市内各所の歩道設置要望は多くて、すぐには対応できない状況だが、しっかり要望していきたい。</p>
53	湖東	その他（ヘリポート）	<p>【市民】山には色々な方が登山や行楽にきている。緊急を要する時ヘリコプターが岳麓公園に着陸する場合がある。砂ほこりが立つので、水をまいてからの着陸になり、すぐに着陸できない。ヘリポートがあればいいと思う。</p> <p>【市長】山岳遭難のヘリポートとして岳麓公園を良く使っている。</p> <p>【副市長】今の話を聞いて思ったことは、ヘリポートを使うことは、都会との交流のアイデアだと思う。救助だけではなく研究できるのではないかと思う。</p>
54	湖東	防災、消防団	<p>【市民】8割はここにお出での皆さんに、2割は市長にお願いしたい。茅野市消防団では、統合再編について検討している。一番の目的は、「団員の負担軽減」団員のなり手がいない状況。会社も色々な勤務形態があるので、そのことも一つの要因になっている。次に、「行政区の財政負担の軽減」。湖東分団は、700戸で9分団ある。他の地区に比べると、ポンプ数が多い。行政区も費用がかかるので軽減したいと検討している。この話は茅野市全体で動くので、最終的には総論賛成で、各地区に来た時各論反対で進まない事が想定されるが、湖東地区では、一番先に分団再編になるつもりで進めているのでご理解ご協力をお願いする。市長へは、総論賛成、各論反対が想定される中で、市長の一声をもらえれば話が進むのではないかと思う。</p> <p>【市長】消防団の話は、今まで通りやりたいが、今まで通りできない状況になっていると思う。今まで通りやることに、一部の人への負担がかかり始めている。その一つの例が消防団。世の中の働き方など社会システムも変わり難しくなっている。その中で地域の皆さんに理解を得ながらご苦労していただいている。市全体でも同じ状況にある。費用面や人的面など要素はあるが、今までやってきたことを維持することが難しくなった。市では、公共施設の再編について検討している。今後しっかりと話をしていくのでご理解をお願いしたい。消防団の再編についても、しっかりと取り組んでいきたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
55	湖東	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれるまちをテーマに話があったが、茅野市のイメージアップ、人口減少に歯止めをかけることが趣旨だと思うが、具体的な数値がない。数値化をしてほしい。例えば、今人口が55,000人だが、100,000人にするのか、60,000人にするのか。2%コストを下げる場合は、ろくに考えない。50%コストを下げる場合は、真剣になって考えるので、数値化をしてほしい。</p> <p>【市長】ご意見ありがとうございます。来年に向けて精進していく。</p>
56	湖東	その他	<p>毎朝ラジオで、松本の若宮、長野の権堂、茅野の塚原の渋滞情報が流れる。不名誉ことは早急に解決して欲しい。茅野市が大好きだが、車のナンバーは諏訪。知名度を上げるには、八ヶ岳や茅野のナンバーがなぜできないのか。実現して欲しい。昔は、白樺湖も観光客が大勢来た。なぜ来なくなったか理由を考えれば自然と答えは出てくる。</p> <p>【市長】ご意見ありがとうございます。来年に向けて精進していく。</p>
57	湖東	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若い人がいないとまちは元気にならない。富士見町で消防団をやれば、住宅補助など8項目程度あったので、茅野市もやってほしい。原村では、15歳以下の子どもの医療費が無料もあるが、若い夫婦が来たいと思えるような施設はどんどんやってほしい。</p> <p>【市長】できるだけそのような形を目指してやっていきたいと思う。15歳以下の子どもの医療費無料はやっている。子どものインフルエンザ予防注射の補助もしている。子どもを大事にすることは、市にとって重要と認識している。</p>
58	湖東	地域、地区、区・自治会	<p>【市民】地区の公民館役員のなり手がいない。各地区行事も多すぎる。公民館の役割について疑問に思う。行事をやるにしても、人を集めることが大変。知恵を絞ってやっていきたいが、そのためには、各地区の公民館長会議を開き、問題点等の意見交換をしたい。</p> <p>【市長】色々な団体が活動している。公民館活動と市民活動の境目はどこなのか話題になる。公民館で地域をよくしていこうと活動をやってきたが、カルチャーセンターになってきている。市民活動は、もともと公民館活動の中にあつた。その辺は整理する必要があるのではと議論している。地区でもそのような議論をしていただき、その場に市も入っていただきこれからの公民館はどうして行くべきかを一緒に議論していければと思う。</p> <p>【教育長】全国的に見ると、公民館活動はかなり衰退している。その中で、茅野市の公民館活動は、苦勞していただいているので活発な方で、なぜかベトナムから視察に来たことがある。その中で、これからの公民館活動の考え方について、もう一度知恵を絞って柔軟な方向にしていきたい。</p>
59	北山	公共交通	<p>【市民】蓼科中央高原自治会は、今年だけでも若い世帯が、6~7軒新規加入世帯があつた。公共交通は不便と分かって来たが、少しでもバスを利用できるとうれしいと声がある。具体的に既存のバス停を利用している子どもの人数を調べているので、今後要望をしたいと思う。</p> <p>【市長】公共交通のバスについて、例えば、バスを縦に走らせて、横や斜めをビアのシステムやったらどうか、または、長距離の移動は、タクシーを使うなど考え方はあるが、全体構想の中で、この地域の子どもが動く状況は、どのような形をいかに検討していきたい。</p>
60	北山	その他（太陽光発電）	<p>【市民】自然のある環境に住みたいと思いついて来ているが、太陽光発電のパネルが多く気になっている。住んでいる方も茅野市に魅力を感じているので、住んでいる方の事情も理解して欲しい。</p> <p>【市長】当初、太陽光発電の法定買取制度は、制限がない状態で始まった。また、電気事業法や建築基準法も関係ない形で始まった。今は、その辺は整備ができた。長野県でも、アセス対象（環境影響評価）の対象にした。長野県が太陽光発電と明記して、アセス対象と条例化したことは、全国で初めてだった。県では、建設部や環境部で業者に対して、ハードルを設けている。作るなどは言えないので、ハードルを高くしている。また各市でもルールを作って現在に至っている。バランスを見ながら対応していきたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
61	北山	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】公共交通に力を入れているが、立地を活かして、若者の声を聞いて進めてほしい。茅野市から若者が出ていく理由、茅野市に来る方はなぜ来るのかを把握してほしい。どのような企業を呼ぶのか、大企業のデザインや設計部門がいいと思う。ワークラボハヶ岳は、フリーランスやIT企業が集まるような工夫をしてほしい。DMOの方に古民家に実際に住んで仕事をしてもらいその声を具体化すればいいのではないかと。</p> <p>【市長】意見としてお聞きする。先ほど6つの事業を紹介したが、ワーケーション、移住交流事業は進んでいる。公共交通はこれから始まる。その他は準備中。スーパーシティへのエントリーは、全部リンクして申請しないといけないので、資料にあるような形で紹介をした。</p>
62	北山	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】消防団のあり方を検討している。少子化のため団員を減らしたが、結局新しい人が入ってこないで、定数を減らしても同じメンバーで活動していかなくてはいけない。高齢化すると、行政区の役をやる40代～50代の方が消防団にいないといけなくなる。茅野市全体で言えることだと思う。消防団員へのメリットを明確に出してほしい。IT化を進めていくので、お金ではなく地域通貨のようなポイントを具体的に進めていただき、活動した人及び家族に対して、家族から後押しされるようなことを検討してほしい。蓼科中央高原は、人口や子どもが増えているので、なぜ茅野市に来たかヒアリングをしてほしい。そのことが、茅野市全体の人口増加につながるかもしれないと思う。長野県は移住したい県No.1。富士見町は移住者に補助金が出ている。そこも、キャッシュではなく地域通貨のようなものを利用して進めてほしい。</p> <p>【市長】参考になる意見をいただいた。実際移住してきた方の意見の聴き取りをしていきたく。来年度は、一つひとつの準備が整ってくるので、市民会議を立ち上げ、例えば、ポイントの話をしていただくなど具体的な話を進めたい。色々な使い方や現代版の結のシステムのようなことをイメージしているので協力をお願いしたい。</p>
63	中大塩	公共交通	<p>【市民】中大塩は、公共交通の実証運行エリアになっているので、良かったと思えるような成果になるよう協力したい。</p> <p>【市長】うれしい言葉をいただいた。実証運行はスマホで予約することが基本だが、電話での対応もできる。多くの皆さんに活用していただき、意見を言うてもらおうことが、より良い形になると思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
64	中大塩	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】40代をターゲットにしていると話があったが、子育て環境が整っていることが必要。例えば、保育費、教育費を安くする政策をやってほしい。高校卒業した人を地元に残しておく政策を考えているか。</p> <p>【市長】茅野市が何年も大事にしてきた、「福祉」「環境」「教育」がある。この部分はしっかりと守っていくことが前提になる。これを守っていくためには、新しい技術を入れていかないといけないと思う。20数年前に作り上げてくれた。その時は、人手も多かったが、今は人手も少なくなっているので、そこに新しい技術を加える中で、例えば、行政アプリを使って連絡を取りあったり、配りものの負担を軽減したり補完できるものは補完するなど検討したい。若い人に負担がかからないようにしながら、若い人がいなくなれば、お年寄りにも負担がかかることになるので、そこをうまく回るようにしたいので、説明したことをやっていきたい。茅野市が今まで大事にしてきたことにプラスして、そこそ便利を加えていきたいと思う。</p>
65	中大塩	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】医療やオンデマンド等この技術を実現するのに、茅野市の企業でほとんどできる。実際この技術を使って、まちに特化した状態を作り上げようとするので、各市町村の企業が入ることが大事なことだと思うので、できる企業を集めて、このような取組ができる形にしてほしい。</p> <p>【市長】企業の情報提供について、諏訪圏のものづくり推進機構と一緒にやれないか考えているが、オール諏訪でやっていくことが理想。見守りシステムは、この前諏訪湖で自転車の位置情報を取って実験したと報道されていた。テレワークは、最低限ネット環境をしっかりと、基本的には、5Gの場所を市内に何カ所か作らないといけない。それぞれのニーズに答えられるような環境整備をしていきたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
66	中大塩	防災、消防団	<p>【市民】災害時に避難所を開設する場合があるが、その避難所の開設は誰が行うのか。また、避難所開設後、避難される方がペット同伴の場合には、その指針、マニュアルがあるのか。</p> <p>【市長】避難所の開設は誰がするのかについて、区長さんたちの判断で公民館を開くことは自主避難になる。その時は市に連絡をいただいている。昨年台風19号は、上川の水位が上がり上川周辺の区には、避難指示をだした。あの時は、前段の準備として、全ての地区コミュニティセンターに避難所を開設し自主避難できる状態にした。そこから、避難指示が出たので、永明小学校を避難所として開設した。ペットについては、改めて回答する。</p>
67	中大塩	その他（中大塩の中期ビジョン）	<p>【市民】中大塩の中期ビジョン研究会で活動している。資料を配布したので協力をお願いしたい。</p> <p>【市長】このような活動をしていただいていることに心強く思う。まさに市民力だと思う。市もサポートできることはしていきたい。</p>
68	ワークラボ八ヶ岳会場	その他（縄文）	<p>【市民】茅野市の特徴に縄文がある。国宝土偶が2体、特別史跡の尖石遺跡がある。第1次地域創生総合戦略には、縄文プロジェクトの取組みがあったが、第2次にはない。非常に残念。縄文文化を市民にも広めていくことは継続的にやっていく必要があると思う。</p> <p>【副市長】第1次地域創生総合戦略は、仕事を作っていく、働く場所があるなど総話的な計画。例えば、理科大の公立化、縄文プロジェクトをやる内容だった。この5年間の中で、人口減少、超高齢化が進む、財政が厳しい中で、より暮らしやすいまちを作っていくために、何を重点にしていこうかということで、今回の第2次地域創生総合戦略ができた。今までマンパワーでまちづくりをしてきた部分を、ITやAIの力を借りてやっていく。縄文プロジェクトでは、イベントを含めてやってきた部分もあるが、イベントそのものより、縄文の遺跡、尖石遺跡、上の段遺跡、駒形遺跡などに光を当てて、その本質そのものをアピールすることによって、茅野市のシティープロモーションにつなげていく方向に持っていきたいと考えている。より本質的なものを第2次で深めて展開していく。縄文プロジェクトの名前は出てこないが、そこをおろそかにするのではなく、より深い部分で掘り下げるように考えている。</p> <p>【市長】地域創生総合戦略の上位計画で茅野市総合計画がある。その中では縄文プロジェクトに触れている。地域創生総合戦略は、総話的ではなく特化した内容になっている。市内には、縄文遺跡が多くあるが、縄文遺跡群として売っていく必要がある。その核として、特別史跡の尖石遺跡がある。今まで、国宝土偶を押し出し過ぎていた。この地域には縄文の遺跡群があって、縄文の精神性をDNAで受け継いでいる地域とあまり発信してこなかった。縄文人は自然と共生をしてきた。山や木に神様がいるなど自然と共に生きて、武器も発掘されない平和な時代。持続可能な社会SDGSに続いていく精神性をアピールし、この精神性を、福祉、環境、教育に落とし込んでいくことが大事だと思う。それこそ縄文プロジェクトだと思う。今までやってきたことをより際立てるためにしっかりやっていく必要があると思う。</p>
69	ワークラボ八ヶ岳会場	若者に選ばれるまちづくり、人口減少対策	<p>【市民】若者に選ばれるまちをテーマにしているが、若者の年代はどのくらいか。</p> <p>【市長】20代から40代くらいをターゲットにしている。</p>
70	ワークラボ八ヶ岳会場	公共交通	<p>【市民】ピアよりウーバーの方が安くできるのではないかと。</p> <p>【市長】ウーバーは個人事業者になる。ピアは、アルピコ、第一交通、諏訪交通、茅野バスで各1台を実証運行で運行する。乗合タクシーの形にするので、普通のタクシー料金より安価になる。今回は実証運行のため、運行範囲は限定している。リゾートテレワークを推進する上で、観光や仕事で来た時の足の確保は選ばれるためには大きなテーマになる。併せて、高齢者の足の確保も大きな課題になる。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
71	ワークラボ 八ヶ岳会場	その他	<p>【市民】 学校で、コロナ禍に関する地域の問題を解決する授業をしている。観光、公共交通等を考えている。観光等で活用する時にWEB上で混雑状況の発信をしていきたいと考えている。NS利用者のビックデータを収集して利用する目途は立っているのか。NSが進んでいるアメリカや中国では、交通の形態が違うが、どのようなアプローチで進めていくのか聞きたい。</p> <p>【地域戦略課長】 お客さんがどこに集中しているか、どのような移動傾向があるのか等について、これから進めるスーパーシティ構想の中で、ソサエティ5.0データ駆動型社会を目指していこうとしている。その中で、どこに視点ができてくるかということだと思ふ。ピアモビリティジャパンのシステムを使って、12月から公共交通の実証運行を始めるが、だれがどこへ行ったかの個人情報ではなく、どの地域の方がどこへ行くのか等を把握したうえで、モビリティを最適化する。観光客の方は、スマホの位置の位置情報でどこにどのくらい電波があるか等ある程度把握できる。キャリアからも情報提供など連携を取りながら進めることになると思う。</p>
72	ワークラボ 八ヶ岳会場	その他	<p>【市民】 業者のビックデータを活用するとあったが、リアルタイムでビックデータを収集して発信していくことは難しいことだと思う。そのようなことをどの様な技術でやっていくのか。授業で取材に行きたいが、NE分野について、技術提供等を行っていることがあれば教えてほしい。大学生がNSに関わることは、事業者とユーザーの視点から見ることができるのでいいと思う。</p> <p>【地域戦略課長】 ピアモビリティジャパンと契約するが、これから大学とも連携してデータ解析できるようになればありがたい。よろしくお願ひしたい。</p>
73	ワークラボ 八ヶ岳会場	その他（娯楽施設）	<p>【市民】 大学近辺に娯楽施設があればいいと思う。茅野市でお金を使えればもっといいと思う。</p> <p>【市長】 行政ができることは、民間企業がここにお店を出そうと思ってもらえるようにすることだと思う。提案をしてほしい。</p> <p>【副市長】 以前学生と話をした際に、4年間茅野市に住んでいたが、蓼科、白樺湖、車山などの観光地に行ったことが無いと聞いた。これから新しい公共交通を準備していくので、観光地へ行ってほしい。せっかく茅野市に来てもらったので、この地の思い出を作ってほしい。</p>
74	ワークラボ 八ヶ岳会場	地域、地区、 区・自治会	<p>【市民】 入区するには、入区費がかかる。良いことばかりではない。若者に対して、各区がどのようにしているのか、住みやすいのか各区の状況を周知して欲しい。若者が来れるような土台を作ってほしい。</p> <p>【市長】 各区それぞれで自治をやっているのだから、市が決めることはできない。ご意見のとおり課題があることは認識している。今までの社会システムの見直しも必要な時代になっているので、この課題を踏まえ市政運営をしていきたいと思う。</p>
75	ワークラボ 八ヶ岳会場	その他	<p>【市民】 学生さんがたくさん来ているが、どうなったら、茅野市にとどまってもらか、市に積極的に提案して、市の参考になればいいと思う。消防団の役員不足の話で、社会システムを変えなければいけないと話があったが、消防団にいい印象とそうでない印象を持っている人には乖離がある。消防団の仕組みではなく、近隣にある消火栓をみんなが使えるようにすることが良いのではないかと思った。</p> <p>【市長】 貴重な意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。</p>